

や っ ち く 瓦 版

鹿児島県志布志市松山町
発行 大隅の國 やっちく松山藩
やっちく瓦版所
099 (487) 2111
第 号 平成21年5月

二十周年記念特別号



平成20年11月8日(前夜祭)、9日(本祭)にかけて、「大隅の國やっちく松山藩第20回秋の陣まつり」が開催されました。

今回は20周年記念という節目の開催でしたが、残念ながら西日ととも雨に見舞われてしまいました。しかし、そのような悪天候の中でも、多数のお客様が来場され、会場内は雨天

が嘘であるような賑わいと活気に溢れていました。前夜祭では、20周年の特別企画として「キッズトライアル」なるものを行いました。子供たちを招いて、玉入れやいもバスケット、いもフェスタ(いもに見立てたラグビーボールを上手に転がす)などの競技でしたが、子供たちも次第に夢中になったようで、大歓声に包まれながら盛り上がっていました。



大隅の國やっちく松山藩 開藩20周年に寄せて

五代目藩主 坂元松尾守正人

今、こうして大隅の國やっちく松山藩が開藩し20周年を迎えるにあたり、地域住民や志布志市の市民の皆様のご理解、ご協力なくして、「こま」での長期継続など成しえなかつたものと痛切に感じております。また、関係各位、スタッフの皆様方のご尽力に対しまして、この場をお借りして厚く御礼申し上げたいと思っております。

さて平成元年に、若者たちの夢や希望を乗せてスタートしたやっちく松山藩ですが、県内をはじめ近隣の地域でも旧松山町の名を知らない方が多く、寂しい思いをしていた頃に比べると、徹底して手づくりやおもてなしの心「こだわり続ける秋の陣まつり」が多くの方に受け入れられ、そして元気のある町として認知いただけるようになり、大変嬉しく思うところであります。しかしながら、やっちく松山藩としての篤い想いは秋の陣まつりの開催だけに留まるべきものではないと考えています。ありとあらゆる課題が渦巻くなかで、これからは微力ながら我々がいかんにして地域活性化に貢献できるかを常に考えていきたいと思っております。先行き不透明な時代ではありますが、郷土を愛する皆様と一緒に「やっちく松山藩」も邁進していきたいと思っております。

本祭の日も、小雨の降る中ではありましたが、出店者の皆さまにも協力をいただき、大盤振る舞いを盛大に行うことができました。来場されたお客様も、多くの店舗で大盤振る舞い(おまけ)があったと喜ばれており、会場をさらに活気付けていただきました。

本日に雨が降っているのかと信じられないほどの盛り上がりを見せた秋の陣まつりですが、毎年楽しみに来場されている市民の皆様の暖かいご支援があるからこそ感じ、藩士一同深く感謝をいたしております。そして、今回のまつりの開催にあたってご支援、ご協力くださった多くの方々に対しま



しても、心よりお礼を申し上げます。

やっちく松山藩は「これからも「手作り」へのこだわり、「あたたかきおもてなしの心」を大事にしながら、市民の皆様とともに歩んで参りたいと思っております。



大熱戦！キッズトライアル



奉納儀式
ちび姫口上！

20周年記念作文コンテスト 表彰式



大盤振る舞いに長蛇の列

雨の中の陣馬そり競争 熱気で霧が発生中！?

